

物理学委員会物理教育分科会（第26期・第9回）

議事要旨

日時 令和8年2月20日（金）11:00～13:00

会場 日本学術会議6-C(1)会議室及びオンライン会議(ZOOM)

出席者： 新永浩子委員（委員長）、市川温子委員（世話人）、藤井良一委員（幹事）、
笠潤平委員（幹事）、関口仁子委員、板倉明子委員、中山迅委員、藤澤健太委員、

高橋英則氏（外部講演者：東京大学大学院・木曾観測所）

伊藤 由佳理氏（オブザーバー：日本学術会議第三部会員・数学教育分科会
／東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究副機構長）

欠席者： 横山広美委員（副委員長）、早瀬潤子委員、渡部潤一委員

配布資料

資料1：【議事要旨】物理学委員会物理教育分科会（第26期・第8回）

資料2：2月21日学術フォーラム「STEM分野の未来を支える多様性とは：教育・探究・キャリアをつなぐ対話--理系の男女差を解決する鍵は、小中教育？家庭？地域？」ちらし（当日机上配布資料）

資料3：高橋英則氏報告資料（当日机上配布資料）

議事

（1）前回の議論の確認と報告

第8回会合（令和7年11月12日）の議事要旨を確認した。

（2）大学主催の合宿形式による探究型天文観測実習「銀河学校」の取り組みの報告

高橋英則氏（東京大学大学院理学研究科附属天文学教育研究センター・木曾観測所）より、東大木曾観測所主催の高校生向けの合宿形式の探究型天文観測実習の取り組みおよび天文分野における他の大学・機関の取り組み、東大の天文系大学院への女子進学状況等についての報告があり、女子の理系進学に関する諸問題について意見交換した。

（3）明日（2月21日）のフォーラムについて

新永委員長から、翌日のフォーラムの準備状況について報告があり、進め方の詳細について確認した。また、フォーラム後の取り組みについて意見交換をした。

（4）今後のスケジュール

委員長がメールで次回会合の日程を提案し調整することを確認した。

（5）その他

日本学術会議ホームページ上に掲載する本会合の議事要旨の作成を委員長に一任することを確認した。